

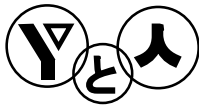
紀泉わいわい村「第2回収穫感謝祭」



来村者 約二千三百人
多彩なプログラムを楽しむ

紀泉の里 賑わいました。大阪府緑山にも紅葉がはじまつた11月3日(祝)、第2回収穫感謝祭が開催されました。秋晴れのすばらしい青空の下で、約2300名の来村者で終日

じまり、尺八とお琴の邦楽、南京玉すだれや人形浄瑠璃の演舞など日本を代表する伝統芸能が次々に披露されました。「ミニだんじり」も登場し、参加した子どもたちによつてわいわい村の中を元氣よく駆け巡りました。たくさんの自然の恵みや地域の方々の支えにより今年も無事にこの日を迎えられた



「80歳になっても20本、自分の歯を保ちましよう」という厚生省と日本歯科医師会が働きかけている8020運動。YMCAサンホームの入居者、岡本晴江さん(90歳)がその達成者として見事認定されました。表彰式を前にし、晴江さんにお話を伺いました。



8020運動で表彰を受けた
おかもとはるえ
岡本晴江さん
90歳で達成！
毎日の歯磨きが原点

「80歳になっても20本、自分の歯を保ちましよう」という厚生省と日本歯科医師会が働きかけている8020運動。YMCAサンホームの入居者、岡本晴江さん(90歳)がその達成者として見事認定されました。表彰式を前にし、晴江さんにお話を伺いました。

「母はサンホームに入居してずいぶん変わりました。感情が穏やかになり、体調もよくなりました。家事から解放されて自分の時間をとても楽しんでるようです。最近では『ありがとう』とよく言うんですよ」と雅美さん。雅美さんは毎日晴江さんを訪ねてこられるそうです。

90歳にして24本も自分の歯を保たれている秘訣について、まずは「食」に関しての質問。嫌いなものは全くなく、好物は柿とうどん。甘

いるのがお化粧です。朝起きて顔を洗えば必ず化粧水をつけます。晴江さんのお肌はとってもすべすべ。取材し

お友達とお茶の時間。サンホームでは朝・昼・晩のご飯とおやつを用意しています。平日の午前中に1階の喫茶

んオセロは負けなし。試しに私たちも対戦してみました。強い！ インタビュー当日は

ボランティア募集

知的障害児のための水泳教室
「エンジェル水泳」リーダー募集

日曜の清々しい朝にお友達と一緒に楽しく泳ぎませんか。何かボランティアで関わりたい方、大歓迎です！水泳指導が初めての方もスタッフが一緒に入り指導を行うので安心してご参加ください。

日程 第1・3日曜日
時間 8:30~12:00
詳細につきましては下記にご連絡ください。
問合せ 大阪南YMCAウエルネスセンター
担当: 小西
TEL 06 (6779) 8362

2004年度 ユースリーダーの日のつどい

大阪YMCAでは、12月23日を「ユースリーダーの日」と定め、全大阪YMCAのユースリーダーがひとつとなり、リーダー自身がその役割の重要性を自覚し、日頃の活動を見直す機会としています。今年はキャンプソングを切り口に、キャンプで出会った人たちとのつながり、歌を通してできるつながり、人と人とのつながりを考える機会とします。YMCAの諸活動を支え、発展させていく担い手であるユースリーダーとYMCAに関わる全ての人が共に研鑽するつどいです。

日時 2004年12月23日(祝)
9:30~12:00
場所 大阪南YMCA
テーマ キャンプソング ~つながりを求めて~

- 協力会員 新規会員
(土佐堀) 片桐 陽 / 片山 英
理 / 鮫島 修二 / 中 智 咲
(南) 加藤 亜美 / 藤井 恵美
(北) 奥村 美香美 (高槻) 平
井 麻友 (北摂) 三好 由佳里
継続会員
(土佐堀) 木津 克見 / 清水
汎 / 千國 康夫 / 源ゆかり /
八尾和彦 / 横田 允宏 / 横田
憲子 (南) 竹内 真里子 (北)
岡原 彬子 / 北村 良蔵 / 坪田
峰志 / 三好 美有希 / 守田 香
織 / 横山 由利 亜 / 和田 早 恵
佳 (堺) 西山 瑞彦 (高槻) 加
藤 寅 尾 / 浜 脇 昭 (枚 方 里
見 公 利 (東) 川 崎 豊 (六 甲
山) 市 田 恒 夫 / 市 田 三 津 (二
〇〇四年十月三十一日現在)
継続賛助会社
(社 福) 関西ののちの電話
近畿日本鉄道(株)

- ユースリーダー
安全基金募金者
伊藤 鉄矢 / 後藤 正慶 / 菅
秀晃 / 田中 かな / 寺岡 進
/ 松岡 佑将 / 森 秀 範 / 宮
野 絵 理 子 / 渡 邊 論 (二〇
〇四年十月三十一日現在)
ご寄付・ご寄贈
次の団体・個人よりご寄
付・ご寄贈をいただきました。
感謝をもってご報告
させていただきます。

先日、日米野球を観に行った。入場する際に危険物の持ちこみ禁止という理由で、ベクトボトル・缶入りの飲み物は用意された紙コップに移し変えなければならなかった。危険物の取り締まりも大切だとは思いますが、不必要なゴミが増えることが気になった。(瑞)

編集後記